

2020年12月4日

国際石油開発帝石株式会社
広報・IRユニット
(電話 03-5572-0233)

インドネシア共和国 アバディ LNG プロジェクト (マセラ鉱区) における
インドネシア国内向け LNG の供給に関する覚書の締結について (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社インペックスマセラアラフラ海石油株式会社を通じて操業主体 (オペレーター) を務めるアバディ LNG プロジェクト (以下、本プロジェクト) を、プロジェクトパートナーである Shell 社 (以下、Shell) と共にインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区にて推進しておりますが、12月2日に開幕したオンライン国際会議「2020 International Convention on Indonesian Upstream Oil & Gas」におきまして、ドゥイ・スチプト SKK Migas 長官立ち合いのもと、インドネシア国営ガス会社 PT Perusahaan Gas Negara Tbk (以下、PGN) との間で、本プロジェクトから PGN 向けへの LNG の供給に関する覚書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本覚書は、インドネシアにおけるガス関連インフラの大部分を保有・運営し、同国のガス化プログラムの中心的なプレーヤーである PGN との間で LNG の販売・調達に関する協議を開始することを内容としております。本プロジェクトからの LNG の供給が実現することにより、ガス需要の伸びが見込まれるインドネシアにおいて、同国政府が注力する自国産資源の活用に資するとともに、特に発展が求められているインドネシア東部の経済にも大きく貢献することが期待されます。

本プロジェクトは、当社がインドネシアでオペレーターとして操業する初めての大型 LNG プロジェクトです。アバディガス田は、世界有数の良好なガス田性状および埋蔵量を有しており、効率的な開発と長期に亘る安定的な LNG、天然ガス生産が期待されております。

以上